



交通ひろしま

HIROSHIMA TRAFFIC SAFETY

編集・発行 公益財団法人 広島県交通安全協会 広島県交通安全活動推進センター
〒731-5108 広島市佐伯区石内南三丁目1-1 広島県運転免許センター5F
TEL (082) 941-7700 FAX (082) 941-7701
URL <https://www.hiroankyo.or.jp/> e-mail: htss@hiroankyo.or.jp

特集号
2019



第67回ポスター・作文コンクール(ポスターの部・特別賞受賞作品)



2019年 広島県交通安全 年間スローガン

危険だよ スマホに夢中の そこの君

広島県知事賞

お父さんの口ぐせとおまもり

江田島市立中町小学校3年 小澤 茉莉

私は二か月前学校の下校中に交通事故にあいました。私は右と左をかくにんせずに道路にとび出していまい、けいトラックに足をひかれてしまいました。気がついた時には、まわりにたくさんの人がいて、パトカーやきゅう急車、学校の先生が来ていました。私はとてもはずかしくなってこの場からにげたい気持ちになりました。きゅう急車に乗せられた私はどっとなみだがあふれてきて「早くお母さん来て。助けて。でもおこられる、どうしよう」とさげんでパニックになっていました。その後お母さんが来ていっしょにきゅう急車でびょういんに行きました。きゅう急車の中で「大丈夫、大丈夫」と言っておかあさんはぎゅっと手をにぎってくれていました。私はずっとなみだが止まりませんでした。びょういんに着くと車いすに乗せられレントゲン室に行き、おいしゃさんから「足のほねはおれていないよ。ちょっとはれているだけだからシップしたら一週間位でなおるよ」と言われました。私は少しほっとしました。それから30分後、お父さんがびょういんに来てあせをふきながら、「いつも車に気をつけろと言ったじゃろうが。気をつけてなかったんか」とものすごおこった顔で言いました。私はまたなみだが出そうになったけどぐとがまんしました。それから家に帰ってどうして今日事こにあったのかを家族で話し、私は事このことを反せしました。

それから五日後、通学路であぶない場所をかくにんするため、お父さんと通学路を歩く約束をしました。これでお父さんと一しょに通学路を歩くのは二回目です。本当は事こにあった場所を歩くのがこわかったのでもうお母さんが「交通事故にあわないためのお守りをいっぱい見ておいで」と言いました。私は「え、おまもり何のこと?」と言って聞き返しました。「おまもりっていうのは交通ひょうしきや交通安全のはたやしん号、サイドミラーのこと、でもこのお守りは必ず見ないと守ってくれない

よ。だから見ないとだめよ」と言いました。それを聞いて私は通学路のお守りをみて見たい気持ちになってお父さんといっしょに通学路を歩きました。少し歩くと事こがあった場所に来ました。お父さんが「何でここに交通標しきの止まれとサイドミラーがあるのか、お父さんが毎日車に気をつけろと言うのがわかるか? 人間は今日覚えたことが明日には70%わすれてしまう生き物なんじゃ。大人も子どもも同じ。大事なことですぐわすれてしまうんよ。だからわすれんように、交通ひょうしきの止まれとサイドミラーを毎日見て、車に気をつけろという言葉毎日耳で聞かんといけんのよ」と言いました。そういえばお父さんは私が一年生になってから今まで、一日もわすれずに言ってくれていたと思います。私はうるさいなあ。もうわかってるから言わないでよ。しつこいなあと思っていました。でもお父さんのいつも言っている口ぐせは、ちゃんと理由があったんだとわかりました。それからしばらくして、お父さんが「足がいたいじゃろ。おんぶしちゃうか?」と言ったのでおんぶしてもらいました。私は小さい声で「お父さんごめんなさい。そしてありがとう」と言いました。

私はお父さんといっしょに通学路を歩いた次の日から学校に行く時毎日の習かんにしていることがあります。それは必ずいやでもお父さんの「車に気をつけるんで」という口ぐせを耳で聞くことと、交通事故にあわないためのお守りを必ず目で見るとのことです。そしてこれからはまだ私の知らない標しきもたくさんあるので少しずつ覚えていき、交通事故にあわないためのお守りをたくさんふやしていきたいと思います。



交通安全ポスター・作文コンクールの入賞者決まる

ポスターの部



☆広島県知事賞

庄原市立東城中学校 1年 田邊 聖和

☆広島県警察本部長賞

尾道市立高須小学校 5年 宮地 凜奈
広島市立城山北中学校 1年 森川 真桜

☆広島県教育委員会賞

広島市立安小学校 4年 藤縄 あのん
廿日市市立七尾中学校 2年 北林 舞

☆広島県交通安全協会会長賞 金賞

福山市立長浜小学校 1年 中村 龍生
世羅町立世羅小学校 2年 片山愛央依
廿日市市立宮内小学校 3年 重森香里奈
広島市立伴南小学校 4年 安井 葵唯
尾道市立土堂小学校 5年 徳山 尽
広島市立梅林小学校 6年 栗末 菜央
尾道市立瀬戸田中学校 1年 末次 智葉
呉市立音戸中学校 2年 空 海美
東広島市立磯松中学校 3年 秋山 若菜

☆広島県交通安全協会会長賞 銀賞

広島市立神崎小学校 1年 塩本 風斗
広島市立早稲田小学校 1年 寺山 史佳
呉市立郷原小学校 2年 惣中 鈴乃
福山市立大津野小学校 2年 池田 茉生
福山市立箕島小学校 3年 藤井 咲那
三原市立田野浦小学校 3年 岡崎 綾乃
府中市立府中明郷学園 4年 花咲穂乃果
広島市立楠那小学校 5年 黒田 苺鈴
東広島市立西条小学校 6年 村上真由莉
福山市立伊勢丘小学校 6年 円福寺美香
東広島市立八本松中学校 2年 坪田明香里
廿日市市立四季が丘中学校 3年 久保田 凜
福山市立千年中学校 3年 森原 美咲

広島県

警察本部長賞

家の前の交差点

伴南小学校5年 森本 悠月

ある日、朝ごはんを食べているときです。「どーんっ」という大きな音と、地ひびきのようなゆれがありました。父がすぐに、「あ、また事故をしたんじゃろ」と、急いで家の目の前の交差点を見に行きました。私も窓からのぞいてみると、黒い大きな車が向かいの家の壁に突っ込んでいます。白い車は別の家の前の歩道に乗りあげて止まっています。両方の車の前は大きくへこんでいました。窓ガラスもわれ、破片が周囲に飛び散っています。

しばらくすると、大きなサイレンの音がして、救急車と警察の車が到着しました。父の話では、軽いけがの人はいたが、亡くなった人はいないようで安心しました。でも、あと15分くらい遅かったら、私たちの通学時間だったので、たくさんの小学生が事故にまき込まれていたかもしれないと思うとぞっとしました。

私の家の前の交差点では、よく事故が起こります。父母の話では、引っこしてきて10年の間に、半年に一回くらいのペースで事故が起こっているそうです。ひどい時には、ぶつかった車が私の家のほうに向かって飛ばされてきたこともありました。私は両親のそれぞれの車に時々のもてらう程度なので、車の運転のことはよくわかりません。でも私たちが交通事故にまき込まれる可能性はたくさんあります。なぜ、私の家の前の交差点で事故が多いのでしょうか。信号がないために、おたがいの車が一時停止をせず、ぶつかる原因をいくつか考えてみました。

まず、この交差点の道路の状況はどうなのでしょう。一方の道には、道路の地面に「とまれ」の文字はなく、道路の横に「徐行」という標識が置いてありました。それは木にかくれて少し見えなくなっています。

他方の道路には、地面に「減速」という文字が書かれています。小さい字で書かれた、「一時停止」という、かん板もおいてあります。でも、このかん板も木や草にかくれ、車からは見えにくいように思いました。道路標識が見えにくく、見落とすことも事故の原因の一つだと思います。

他の原因は、運転する人の運転方法や意識だと思います。

この交差点のある道は、高速道路からの道につながっています。百キロくらいのスピードを出して高速道路を走った車は、スピードの感覚がマヒしたまま、交差点に進入してしまうことも考えられます。私たちの団地内は30キロまでの速度制限だと聞きましたが、実際に、おどろくようなスピードで走る車を何度も見かけました。おそらく、どちらの車も、道路標識などには目もくれず、自分が優先で、相手が止まるだろうと思って、いつものスピードで交差点に入ってくるのではないのでしょうか。どのような交差点でも、減速をして、左右を確認してほしいです。最近、けい帯で電話をしながらの運転をする人をよく見かけます。また、けい帯電話に集中してしまって、周囲の安全を確認できず、大きな事故になったニュースを、よくテレビで見ます。このような車を運転する人の安全に対する意識の低さも事故を起こす大きな原因になっていると思います。交差点での事故を無くするために、見えにくい道路標識を改ぜんすることや、車のスピードを出さないこと、安全を意識しながら車を運転することなどは、10歳の今の私にはできません。でも、周囲の状況に気を配りながら、安全を確認して交差点をわたることはできます。

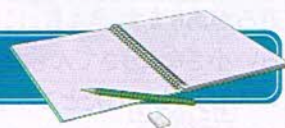
学区内にある交差点では、私たち小学生が通学する時間帯に、保ご者の人たちが旗を使って交通誘導を行ってくれています。交差点をひきりなしに通る車は、通勤の時間帯ということもあり、急いでいることが多いようです。保ご者の人たちの指示にきちんと従い、安全に交差点を渡れるように心がけたいです。

また、私の両親は、登校するときに、「交差点では、飛び出しちゃいけないよ」「あんたは下ばかりみて歩くけん、顔を上げてしっかり周りをみながら歩くんよ」と、言います。

毎日同じことを言わなくてもいいのに、と思うこともあります。が、心配して言ってくれる両親の言葉も交通ルールも、きちんと守ってきけんな交差点を安全に通行したいと思います。

「第67回交通安全ポスター・作文コンクール」(公益財団法人広島県交通安全協会主催、広島県・広島県警察・広島県教育委員会・地区交通安全協会共催)は県内の小・中学校からポスター部門12,458点(478校)、作文部門1,292点(190校)にのぼる多数の応募があり、厳正な審査の結果、各賞が決まりました。各部門の入賞者は次のとおりです。(敬称略)

作文の部



☆広島県知事賞

江田島市立中町小学校 3年 小澤 茉莉

☆広島県警察本部長賞

広島市立伴南小学校 5年 森本 悠月
東広島市立松賀中学校 1年 向谷 彩耶

☆広島県教育委員会賞

広島市立織町小学校 2年 辻 慶太郎
広島市立庚午中学校 3年 井久田かすみ

☆広島県交通安全協会会長賞 金賞

東広島市立西条小学校 1年 濱田 壮真
東広島市立下黒瀬小学校 2年 小田 泰雅
呉市立吉浦小学校 3年 岡峯 京介
広島市立口田東小学校 4年 老川 凜桜
府中町立府中中央小学校 5年 奥村 健心
尾道市立重井小学校 6年 長崎 大聖
福山市立広瀬中学校 1年 三好 登偉
廿日市立四季が丘中学校 2年 吉田 愛
広島市立東原中学校 3年 西川百合香

☆広島県交通安全協会会長賞 銀賞

府中町立府中中央小学校 1年 木下 翔毅
広島市立川内小学校 2年 鈴木 里彩
尾道市立因北小学校 3年 野口 羽華
広島市立安北小学校 4年 杉田 華音
福山市立赤坂小学校 5年 高橋舞凜花
三原市立本郷西小学校 6年 福濱 暖和
庄原市立庄原中学校 1年 森原 桜奈
三次市立八次中学校 2年 玉野 莓花
呉市立和庄中学校 3年 岩崎 未希

広島県警察本部長賞

交通事故から学んだこと

東広島市立松賀中学校1年 向谷 彩耶

「こつん」この音は、私の交通事故の認識を変え、事故防止を考える大きなきっかけとなった。

私は、今春、中学生になった。そして、小学生の頃は徒歩で通っていたが、中学校までは片道3.6キロメートルもあるので、自転車で通学することになった。私は、自転車に乗り慣れていないので、自転車通学に対しては、十分に気をつけているつもりだった。しかし、入学から四ヶ月たった七月に事故にあってしまった。信号機のない交差点で横断する時だった。曲がって来る車と私がお互い一度は止まったものの、ゆずり合った結果、私と車が同時に出てしまい、「こつん」という小さい音を立てた。車のカーブミラーと私の腕が当たったのだ。しかし、私はこけることなく、全くけがをせずにすんだ。車にも、一見目立った傷はなかった。運転手の女性に、「大丈夫?」と聞かれたので、「大丈夫です」とだけ答えて、何事もなかったかのように学校へ向かって自転車をこいだ。

すると、学校に着いて、読書をしていた8時10分頃、担任の先生が教室に来て、「今日、おんまく寿司の近くで車と事故したものはいないか。いたら職員室に行くように」とみんなに告げた。もしかして、私のことを言っているのだろうか、あれは事故になるのだろうか疑問を持ちつつ職員室に行った。そして、教頭先生に何があったのか尋ねられた。そこで、はじめて私は、車の運転手の方が警察に相談し、警察から学校に連絡が入ったため、こんなことになってい

るのだと分かった。その後、学校に警察の方々が来て、私は朝の出来事を話すことになった。私の自転車も調べられた。警察の方と話をするのは、初めてで、とても緊張した。それと同時に、こんな大事になってしまい、自分がとてつもなく悪い事をしたような気持ちになり、不安で仕方がなかった。そして、けがをしたかしなかったに関係なく、当たったつまり、触れただけでも事故になることを知った。私の身に起こったことは、ささいなことだけど交通事故なんだと交通事故に対する認識の甘さを痛感した。

私は、この事故から二つのことを学んだ。一つ目は、人や自転車を含む車が「接触」ということは事故であり、事故が起こったら家や学校、または警察にすぐに連絡するのが義務であること。

二つ目は、渡ってもいいのか判断に迷った時は、とにかく渡らず、安全が確認できるまで「待つ」べきだということ。今回の場合、車が曲がりきるまで待つのが正解であったと思う。大丈夫だろうと勝手に決めつけ、安全だと思える状況でもないのに渡ってしまったことを深く反省している。

しかし、安全だと確認しながら、道を歩いたり、自転車に乗るのは、なかなか困難な行動だ。まして、急いでいる時はなおさらだ。けれども、これこそが、事故防止の基本であり、一人一人が意識すれば、事故を未然に防ぐことができると私は思う。



ほくのすんでいるマンションは出たらすぐ前に車のよく通る道があります。きんじょには歩道のない道ろや見通しのわるい小さなこうさてんもあります。ほくは何回か車と車が正めんしょうとつしたところを見たことがあります。ほくのお母さんは心ばいしょうだし大きなこえをもっています。一しょに出かけるとき、ほくが一人で出かけるときに、道ろをわたるたびに

「はしっこあるいて、ストロップ。右よし左よしもう一回右よし左よし」と言います。ほくはそれがたまにはずかしくめんどくさいです。家にかえって「もうわかつとるよ」と家で言ったときお母さんは「わかつともわすれるでしょう。ママいっつもしんばいなんだからきをつけなさい。」と言いました。「けいちゃんがしんばいなのもあるけれど、あなたがじ分かってに歩いていたら人にめいわくだよ。けいちゃんのを

いで人がじこにあうかもしれんのよ」と言われたこともありま
す。よくわからないけれどなるほどなとおもいました。

二年生になって、お母さんなしで出かけたりすることがふえました。一人であるとき、ふとあたまと耳のあたりで「ストロップ右よし左よしもう一回左よし右よし」がじゅもんのようにきこえることがあります。お母さんの大ごえじゅもんがいつのまにかあたまに入りこんで一人でも気をつけて歩くようになっていました。ほくには3さいのおとうとがいます。おとうとはほくよりうろうろするせいかくなので少ししんばいです。だからまだ小さいうちに、ほくもお母さんと一しょに「ストロップ右よし左よし」をおしえていつのまにかようじんぶかくみちをあるけるようになってほしいです。

ほくもずっと「ストロップ、右よし左よし」のじゅもんをたいせつにしていきたいです。

私は、今まで自転車に乗る時は信号だけに気を付けとけばいいやと思う程度で交通安全についてあまり気にせず生活していました。

ある日、父が仕事で運転していた大型トラックに乗せてもらいました。大型トラックの助手席は普通の車より背がとても高く窓も大きいいつもの景色がまるで違って見えました。私は父に、「毎日こんな気分が良い事ができてうらやましいな」と言いながら父の顔を見ましたが、父は何も言わずとても真剣な表情で運転を続けていました。私は父に無視されたと思いムッとしてしまいました。数分後、赤信号で止まった時外の景色を見ていると高校生の乗っている自転車がトラックの横に止まりました。その後、高校生は友達と合流し3台に増えおしゃべりをしながら横一列で進み始めました。普通の大きさの車は自転車の横をギリギリで通って行きました。ぶつかる!!と目を閉じてしまいました。私の乗っているトラックは大きすぎるので横を通ることが出来ませんでした。ノロノロと走っているとトラックの後は車の列が出来て渋滞になっていました。渋滞が出来てしまったので、車はゆっくりと進んでいましたが今度はバイクが渋滞の車

の間を右へ左へと車をよけながら進んで行きました。ぶつかっていないのが不思議に感じました。

父はずっと無言で運転し目的地に着くと「フー」と一息つき、私に笑顔で「おつかれさん」と言ってトラックの荷物を降ろし始めました。私には短いトラックでのドライブでしたが、父にはとても長い時間緊張していた事を感じ「毎日こんな気分が良い事ができてうらやましいな。」と言ってしまい無視されたのと勘違いしてムッとしていた事を反省しました。私が見た時は、たまたま事故が起こらなかったですがみんなが自分勝手に行動するといつか大小の事故を起こしてしまうと思います。事故を起こさない為に安全運転をしなければならないけど、安全運転をするには歩行者、自動車、バイク、自転車全ての人が周りの人の安全を思い合って出来る事なのだ父の助手席に乗って知る事が出来ました。

私は、今中学三年生で来年は高校生で自転車通学になる予定です。自転車に乗る時には、この思いやりの気持ちを常に心がけて、自転車の安全運転を行う事を決意します。

